

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【35】

2. 日 時：令和3年12月10日 10時00分～12時00分

3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、宇田川安全審査官、大野安全審査専門職、服部（靖）安全審査専門職

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他12名※

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当※

電源開発株式会社

原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、では本日の島根 2 号機、設工認ヒアリングを開始したいと思います。まず中国電力から説明、本日の説明の流れを説明をお願いします。
0:00:18	中国電力のクラムスです。本日は、先日水曜日のヒアリングの中でご説明をしました、石油課宇都スペクトルの作成方針とそれに関連した、
0:00:30	補足説明資料に関しまして、まず、ちょっと前回時間が不足したということもございましたので、追加でご指摘等をちょうだいするものと思っております。
0:00:41	で、その後別途の今日のヒアリングのこちらからのご説明という流れを考えております。いかがでしょうか。
0:00:49	規制庁です。そうですねすみませんこちらから言うべきでしたね。まず最初ではこちらからの前回の続きのコメントをまずしたいと思います。
0:00:59	では規制庁からコメントある方、お願いいたします。
0:01:08	規制庁、植木です。
0:01:12	私の方から幾つか、
0:01:16	確認があります。
0:01:18	比較表の資料。
0:01:22	お願いします。
0:01:29	NS飯野. 2-00 一井-07 の括弧費です。
0:01:36	そのの、
0:01:38	5 ページ。
0:01:41	だけど、(4)のちょっと文章でですね 3 段、
0:01:49	求めた床応答スペクトルに対し、
0:01:52	材料補正の不確かさを考慮した。
0:01:57	条件条件を設計を床応答スペクトル位置とするという。
0:02:04	ことで、ちょっと文章だったら問題なんですけど、
0:02:10	先行と比べると、ちょっとわかんの条件条件を床応答スペクトル 1 っていうのは、
0:02:18	ちょっとわかりづらいかんと思ったんですけど、いかがでしょうか。
0:02:28	はい。中国電力、岩崎です。はい。ご指摘の通りで条件というのわかりにくいので先行とあわせてはい考慮して作成したものといった記載にさせていただきたいと考えております。以上です。
0:02:46	規制庁日置です。検討をお願いします。
0:02:51	それ。
0:02:53	あと、6 ページ。
0:02:57	お願いします。
0:03:03	これのですね。
0:03:05	(5)。
0:03:10	この文章もちょっとわかりづらくてですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:15	1行目の途中から、深度に1.5以上の、
0:03:20	係数を乗じて設定した。
0:03:24	多分設定した。
0:03:28	条件を、というか宇都助っ人2とすると。それで、
0:03:35	その条件というのは、設計を床落とすPET-1に対して、
0:03:41	余裕のあるということだと思んですけど、ちょっと2行目のですね設計用床を通すPETの位置に対して、
0:03:51	余裕安定度がちょっと間に入っちゃってて、
0:03:55	うん。
0:03:56	読みようによっては何か、震度2.5以上の係数を乗じて設定した。
0:04:03	設計法、床応答スペクトル1に対してって日本語としては、どこにかかるかはちょっとわかりづらくて。
0:04:11	読みようによっては
0:04:14	市の説明を1.5以上と言ってるようにも読めるので、このよ。
0:04:20	記載をわかりやすくした方がいいのかなと思んですけど。
0:04:30	はい、中国電力ミヨカワです主事。理解いたしました記載に反映いたします以上です。
0:04:37	規制庁池です。お願いします。
0:04:40	あと9ページ。
0:04:43	ですけど、
0:04:44	これ確認なんですけど一番上の(3)の鳥栖スペクトルの数値計算用緒元
0:04:53	なんですけど、まず確認は、この周期間隔というのは、
0:05:01	鳥根2号機の建設Gと同じということよろしいでしょうか。
0:05:10	はい中国電力ミヨカワですご認識の通り建設時から変更ございません以上です。
0:05:16	規制庁青木です。
0:05:18	それと計算基準2、
0:05:22	について先行と。
0:05:25	若干違うんですけど、この考え方というか、
0:05:33	建設時のものだと思うんですけど、
0:05:37	この設定した切り方について、サイトの特性なんかを考えて、
0:05:43	設定されたものかと思うんですけどもちょっとその内容を説明お願いします。
0:05:54	中国電力のクラムスです。
0:05:56	この、
0:05:57	スペクトルの計算におけるこういう周期の計算間隔でございますけども、今植木さんがおっしゃられた通り、鳥根としてのサイトの特性を考えて設定をしたものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:10	豊島根井につきましては、先行プラントと比較しますと、硬質側の岩盤のサイトということになりますので、
0:06:20	主要な施設、例えば原子炉建物等のこういう周期で見ましても、先行プラントと比べると最短周期側、
0:06:30	にこういう周期がなっております原子炉建物で申し上げますと、一次の固有周期が約 0.2 秒辺りになります。
0:06:38	そういったこともありますのでそういった主要な施設の周期のところを、先行プラントと比較しますと計算を細かくして、それより長周期側については、
0:06:49	若干悪くなっていると、いうようなところでサイトごとの特性を考えて設定したものになっております。以上です。
0:06:58	規制庁池です。はい。よくわかりました。
0:07:02	あとわあ、
0:07:09	えっと、9 ページのですね 9 ページの一番下の(2)の設計を進藤。
0:07:19	この 2 段落目の説明で、これのスペクトルと同じように、
0:07:28	1.5 以上の件数を乗じて、
0:07:32	ということなんですけど。
0:07:36	これは、
0:07:40	2.1. 1(1)の最大応答加速度に 1.5 以上と。
0:07:49	いう、記載なんですけど床令和んアノンも頭の最大応答家族どう。
0:07:58	これをここに 1.5 以上の余裕係数をまずかけて、
0:08:05	そのあと、震度でしたら 1.2 倍するとか、
0:08:13	強度評価用の、
0:08:15	やつを 1. 二倍すると思うんですけど。
0:08:18	その深度、
0:08:20	と区別するために、ここは最大応答加速度っていうふうに、
0:08:27	記載しているということでよろしいでしょうか。
0:08:35	はい中国電力ミヨカワです。ご認識の通りです。以上です。
0:08:40	規制庁与儀です。わかりました。そうするとこちらの深度の 1.5 には 1.2 は含まれないっていうか、
0:08:49	仮に 1.5 だとすると最大応答加速度の 1.5 の 1.2。
0:08:56	というふうにして年震度を設定してると、そういうことでよろしいです。
0:09:04	中国電力宮川です。ご認識の通りです。以上です。
0:09:09	規制庁池戸はい、わかりました。
0:09:16	それから、10 ページの SPET の作成方法のフロー図。
0:09:25	藤。
0:09:29	右下、下から二つ目の四角で、深度に 1.5 以上の
0:09:38	係数。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:42	ケースバイ関係数倍っていうふうに書いてあって、
0:09:46	これ、文章の方見ると、床応答スペクトルの振動、
0:09:53	縦軸の振動、
0:09:55	2、一律、
0:09:57	1.5 以上かけるという。
0:10:00	ことでわかるんですけど。
0:10:03	ちょっとこのフロー図だけを見たときにですね単に深度に 1.5 以上、
0:10:09	のケースバイって書いてあるので、
0:10:12	そこがちょっとわかりづらいかなと思って。
0:10:16	いて、例えば、
0:10:19	床応答スペクトルの震度 2 とか、
0:10:23	そういうふうにした方がわかりやすいかなと思うんですけどいかがでしょうか。
0:10:32	中国電力ミヨカワです。記載検討しまして反映いたします。以上です。
0:10:38	はい。規制庁植木です。お願いします。
0:10:50	えっとですね。
0:10:54	15 ページ。
0:10:56	3 歩Ⅱで地震応答解析モデルで、(1)。
0:11:01	原子炉建物、
0:11:06	それ
0:11:08	16 ページで(2)。
0:11:13	なんですけど(2)が炉心原子炉圧力容器及び内部構造物並びに原子炉本体基礎というふうに書いてあるんですけど。
0:11:24	原子炉格納容器っていうのは、
0:11:32	この(2)の中に入ってるっていう理解でよろしいんでしょうか。
0:11:54	中国電力ミヨカワで少々お待ちください。
0:12:17	中国電力ミヨカワです。この容器は原子炉本体基礎に含まれる。
0:12:23	認識です。以上です。
0:12:27	規制庁大木です。ちょっと用語の話になるかもしれないんですけど、原子炉本体競ってってください。
0:12:37	そのこと。
0:12:39	ではなくて格納容器も含むんですか。
0:13:15	中国電力の横谷です。原子炉本体基礎ですとか原子炉本体の基礎を、表現がいくつかありますので、内容を確認して、資料に反映いたします。以上です。
0:13:27	長駅です。お願いします島野郷の場合は
0:13:34	設置許可段階で、確認というか、会合でも確認させていただいたんですけど。
0:13:42	建設Gは格納容器等、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:46	圧力容器のモデルと。
0:13:49	あと炉内構造物関係ですがこの二つのモデルに分かれていた。
0:13:54	今回新規制の方、工認では格納容器も、
0:14:01	道内構造物圧力容器もすべて一体のモデル。
0:14:05	しているということなんで、格納容器は、
0:14:12	括弧 2 の中に、当然入ってくると思う。
0:14:16	言いますので、
0:14:18	少なくとも、
0:14:21	ちょっとモデル
0:14:23	の名前っていうか、
0:14:28	それはかなり長くなってしまっているのは理解はしてるんですけど、ただここにその格納容器が入ってるっていうのは文章上は、
0:14:37	さっきちょっと木曾に副含まれるような話もされてましたけど、仮に含む。
0:14:45	ちょっと含まれてるとは私はちょっと思えないんですけど、格納容器っていうのはここ、
0:14:51	2、このモデルの中にあるということはやはり、
0:14:55	明確にしてもらった方がいいかなと思いますので検討をお願いします。
0:15:04	中国電力のクラムスです。
0:15:07	はい。今回の島根 2 号機の工認にオキムをおける、
0:15:12	縦棒が原子炉建物とその大型機器の連成解析モデルについては、今、植木さんからお話いただいた通りでございまして、原子炉格納容器につきましてもこの資料の、今の(2)の中に含まれるというのは、明確にその通りです。
0:15:27	ですので、確かに今の記載ではそこがやや読み取りにくい記載になっておりますので、記載の見直しを検討させていただければと思います。以上です。
0:15:39	規制庁池です。
0:15:41	お願いします。
0:15:43	what27 ページ。
0:15:47	ですね。
0:16:00	えっと表 4.2 で、ここは設計を床応答スペクトル。
0:16:09	記載しますということで、
0:16:19	床応答曲線、ごめんなさいいく応答スペクトル用は設計用ではない標準。
0:16:26	ケース標準、基本ケースっていうんですかその床音スペクトルは
0:16:33	ここ、
0:16:35	本。
0:16:36	添付資料には記載しないという。
0:16:42	ことで理解したんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:46	先行とはちょっとやり方が違うのかなと思うんですけど、その辺りの考え方をちょっと。
0:16:53	説明をお願いします。
0:17:00	中国電力のクランプです。
0:17:02	やはり添付いたします床応答スペクトルにつきましては、
0:17:07	備考欄に記載方針の相違ということで書かせていただいておりますけども、島根 2 号機としましては、直接設計に使用する条件のみ示すということで、実際の
0:17:20	配管系と、
0:17:22	他、そういった耐震評価を行う設備の設計に適用するものとしては、基本ケースの床応答スペクトルに相当するものをそのまま適用することではなく、
0:17:32	設計を床応答スペクトルの島根で言えば、1 棟に、
0:17:36	もしくはそれを上回るものを適用して参りますので、ここでは、やはり設計に適用する条件をお示しするというので、基本ケースの床応答スペクトルは、添付していないと。
0:17:48	いうところです。なお島根の場合は、設計用 1 と。
0:17:53	2 を設定しますけども設計用に、の方の床応答スペクトルが、基本ケースの床応答スペクトルを 1.5 倍以上の係数を掛けて作成するものになりますのである意味形としましては、
0:18:05	基本ケースのスペクトルと同じでケースバイされたものとなりますのでちょっとそういったところもありましてこのような方針としております。以上です。
0:18:16	規制庁江田です。考え方はわかりました。特にその基本ケースの床応答スペクトルが公園所。
0:18:25	見えなくなるっていうか、
0:18:29	今言われたように設計をすべて取るのに、国が、形としては同じだ。
0:18:37	なのでっていうこと。
0:18:40	特にうちも特にこれを使ってるっていうことはないので、
0:18:50	除い必要はないだろうと、そういう判断。
0:18:54	ちょっと繰り返しになりますけど、ということでもよろしい。後で使うっていうようなことはもうないということでもよろしいです。
0:19:05	はい。はい。中国電力田村です。植木さんおっしゃられてる通り、設計を、
0:19:12	今オートスペクトル 1 を下回る種となってる曲線を設計において使うことはないので、向こうが明確化で中間生成物を、
0:19:24	ここに、
0:19:25	添付する必要はないという判断です。ご認識いただけてる通りです以上です。
0:19:32	規制庁池です。わかりました。
0:19:37	ちょっと今の話に少し関連するんですけど。
0:19:49	本当ですがちょっと戻っ。
0:19:53	5 ページ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:55	なんですけど、(4)。
0:20:00	さんで求めた床応答スペクトル。
0:20:07	そうですね。これ、
0:20:14	ごめんなさい。4 ページの方でした 4 ページの方で(3)で一番下、(3)で 2 点求めたゆこうとスペクトルに対して、
0:20:24	プラマイ 10%の拡幅を行うという。
0:20:29	ことでちょっとこれは確認なんですけど。
0:20:35	江藤、(2)っていうのは、(1)。
0:20:40	求めた加速度時刻歴、
0:20:43	から床応答スペクトルを作成するとで、(1)っていうのは、
0:20:48	地震応答解析の基本方針のうち、
0:20:55	2 ポツ、地震応答解析の方針に基づき策定した、云々というふうに書いてあるんですけど、
0:21:04	これ、括弧 1 の内容が基本ケースであるっていうのは、
0:21:11	この文章だけで読める。
0:21:15	特定できるっていうことで、
0:21:19	よろしいんでしょうかね。例えば、216 の地震応答解析の基本方針の中で、
0:21:28	基本結構ばらつきを含めない基本、基本ケースとは書いてないのかもしれないんですけど。
0:21:35	そのことだっていうのはこの文章で特定できる。
0:21:41	と考えていいんでしょうか。
0:22:00	中国電力ミヨカワです少々お待ちください。
0:23:13	中国電力のクランプです。
0:23:15	はい。今のご指摘の箇所ですけども、比較表の 4 ページから合計 5 ページにかけて、(1)下から 5 ページの(4)まで一連の流れで記載しております。
0:23:28	もともと当社といたしましては(1)(2)(3)と進んできて床応答スペクトルに対してプラマイ 10%の拡幅を行うと、そのあとに(4)で、(3)で求めた床応答スペクトルに対し、
0:23:41	材料物性の不確かさを考慮した条件を設計用床応答スペクトル位置とするというこの一連の流れから逆に申し上げますと(1)から(3)はまだその材料物性の不確かさを、
0:23:53	考慮していない段階の条件ということですから基本ケースに相当するものというような全体の文意としてはそういった意図で記載をしてございました。
0:24:06	ただ今植木さんからご指摘もありました通り、ちょっとその(4)を読まずに(1)から(3)のこの文章だけで純粋にこれが基本ケース。
0:24:16	のみを指すものというところが、はい。読み取りにくいというのははいその通りだというふうに認識をいたしましたので、そこははい。明確になるように記載を見直たいと考えております。以上です。
0:24:30	規制庁駅です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:24:32	検討昔にします。今おっしゃったように(4)まで読めば、基本ケースだっていう、
0:24:41	そういうことがわかる。あとフロー図の方でも、
0:24:58	フロー図の方もなんか、おんなじっていうか、10 ページの方も、特に
0:25:06	あれですよ。
0:25:09	基本ケースっていうのがまず前提なフロー図が流れてきて、横から材料補正が最後に入ってくるので、さっきの文章と同じように全体を、
0:25:21	見ればわかる。
0:25:25	なので
0:25:29	ちょっとそういう意味ではフロー図の方もちょっとわかりづらくなっていうさっき、文章のところで、
0:25:37	読めないと言ったの。
0:25:40	ことと同様なことが、
0:25:44	いえるのかなあと。フロー図の方もですね、何か中キー
0:25:50	例えばプラマイ 10%のところに、中期、
0:25:56	あの頭のところがちょっと、
0:26:00	わからないですけど、少しあった方が、
0:26:05	いいのかなという。
0:26:08	ことがありますのでちょっと検討をお願いします。
0:26:15	中国電力ミヨカワで承知しました。以上です。
0:26:34	補足せ、規制庁植木です。補足説明資料の方なんですけど。
0:26:40	資料番号がNS2 のホ-027-01。
0:26:58	多分祭礼。
0:27:00	と。
0:27:04	9 ページお願いします。
0:27:12	ここで、
0:27:13	土肥別途よくわからなかったのが、
0:27:19	下から二つ目の、
0:27:23	パラグラフで、
0:27:26	誘発上下動を考慮しない応答加速度時刻歴及び
0:27:32	上記出られた応答加速度時刻歴から、
0:27:38	最大応答加速度及びスペクトル散水、上記出られたっていうのは誘発上下動を考慮したもので、
0:27:48	それと
0:27:52	まとめのえという八尾上どう考慮しない。床応答加速度時刻歴、
0:27:59	この両方からを通すテッドさん地質して崩落したものと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:07	いうふうに書いてあって、この、
0:28:11	書いてるちょっと意味を教えてくださいんですけど、
0:28:20	設置率が65%未満の場合は誘発上下動を考慮する。
0:28:27	立山の方の解析で誘発上下動を考慮するってことかなと思うんですけど。
0:28:33	この、
0:28:34	文章の意味が、
0:28:38	等、
0:28:40	例えば
0:28:44	読みようによっては誘発上下動考慮。
0:28:48	65%未満で誘発上下動を考慮する。
0:28:53	応答解析等それから、同じ
0:28:57	65%未満であったとしても、考慮しない応答加速度、
0:29:04	考慮しない応答解析で出てきた応答加速度、この二つを何か包絡する。
0:29:12	というふうにも読めるし、
0:29:16	もう一つの見方は
0:29:22	まずそういうふうにも読める。
0:29:25	ですけど、
0:29:26	そうではないということでしょうか。誘発上下動建屋が誘発上下動を考慮する場合は、誘発上下動を考慮する。
0:29:39	加速度を考慮した結果出てきた家族動だけを使うっていう、
0:29:46	ことでしょうか。
0:29:56	中国電力岩崎です。実際設計として用いておりますのは、この四つ部位プラスVNS-ムNNS類プラスVWV-VWと、
0:30:11	その部位そのもの。
0:30:13	で、その五つに対して、最大応答加速度、そして床応答部スペクトルを算出して包絡したものを、実際には設計に使用しているという。
0:30:25	ことをやっています。
0:30:30	規制庁池沢わかりました。そうすると、ちょっと私の理解が不足していて、部位だけのものも、
0:30:41	使う、使うし、言えず、理髪上下動を考慮したものも使うし、し、
0:30:47	同胞使うってこと。
0:30:51	ですね、もしそうであれば、
0:30:54	もうちょっとこの、
0:30:57	誘発上下動を考慮しない応答加速度時刻歴っていうのを、部位だけであるってことをちょっと明確にしまおう。
0:31:06	言った方がいいのかなと思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:08	いかがでしょうか。
0:31:20	はい。中国電力岩崎です。一応この誘発上下動考慮っていうのは、部位そのものに対して、考慮としてこの四つの部位根づいた分のプラマイっていうのを、
0:31:32	考慮として追加するという意図、考えからこのような設計をしているものなのですが、部員としてちょっとつか伝わりにくいかなと思いますので、記載は検討して、
0:31:44	対応させていただきます。以上です。
0:31:47	さっき成長期です。
0:31:51	ちょっとこれ、建屋側も含めた核になるんですけど。
0:31:55	65%切って、
0:32:00	のバーいVだけのものを、
0:32:06	ものを使うっていうところが、
0:32:11	とういだけを使うんです。
0:32:20	なんか、
0:32:24	の方は、また、ちょっとそれ確認していただきたいんですけど、建屋の方も同じような考え方で、
0:32:33	6、
0:32:35	誘発上下動を考慮する場合は考慮しない。
0:32:39	M方のもの類も、戸塚戸塚って設計、建屋が閉じ軸力になるのかもしれないんですけど、それも包絡。
0:32:51	そして、
0:32:52	いるかどうかっていうのをちょっと確認していただいて、包絡するので、保守的になってるという意味では何ら問題ないんですけど。
0:33:04	ちょっと私の、
0:33:06	理解だと、誘発上下動を考慮する。
0:33:10	場合はもう
0:33:14	考慮したものだけを使う。
0:33:16	のかなとちょっと思っていて、ちょっと次、記載をわかりやすくしてもらうのと、あと建屋はそういう考え方なのかどうかっていうのを、ちょっと次回説明。
0:33:30	していただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
0:33:39	中国電力の大村です。建屋側の方の基本的な考え方ですけども、誘発上下動の一応、65%を下回った場合っていう場合については、建物側についても誘発上下動。
0:33:54	その影響を考慮するっていう方針については、土岐側の、こちらに記載しているものと、相違は、
0:34:01	ありません。
0:34:02	正しいですけども別途建物の方の審査の方で説明をさせていただきたいと思ってるんですけど、その影響の程度によっては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:13	部位に対して、誘発上下成分の部位を出すか出さないかっていうところの、ご説明を、また、そっちについては検討して、
0:34:24	説明させていただきたいというふうに思っております。以上です。
0:34:30	規制庁駅です。はい。
0:34:34	お願いします。
0:34:36	ああいう八条建屋で誘発上下動を考慮するっていうのはそれは考慮するんでしょうけど、私が聞いたかったのは考慮しない、
0:34:48	上下動もう設計で使うのかっていう、そちらの方だったので、
0:34:54	よろしくお願いします。
0:35:01	規制庁局電流はいの、タムラの方からちょっと追加させていただきます。
0:35:08	建築扱いは、また建築の方でご説明させていただきたいと思えますんで、
0:35:16	笛木さんがおっしゃってるように、誘発上下動を考慮するのだから、その考慮する前の、
0:35:25	応答で扱わなくてもいいんじゃないかということ、そこそこの技術的な考え方は理解しております。その上で、
0:35:35	床応答スペクトルを、保守的、
0:35:40	保守性の観点からっていうことになるとは思いますけども、その前のため、アメリカの頭入れて、包絡をしているというのが機電側としての対応の仕方になっております。以上です。それが
0:35:53	やっтерことがわかるようにしたほうがいいと思いますので、それは明確になるような記載にいたします以上です。
0:36:03	規制庁駅ですはい。よろしくお願いします。
0:36:21	規制庁小木曾お願いします。
0:36:24	あとですね同じ記載なんですけど、同じ9ページですね
0:36:32	下から4行目dアーム65%の話がここで最初に出てくるんですけど、これ一はその頭の方で、野呂。
0:36:43	65%未満の場合は誘発上下動を考慮する。
0:36:47	というふうに、まず、
0:36:49	言った方がいいと思うんですけど、最後になって、
0:36:54	唐突に65%っていう数字が出てくるので、
0:36:59	いかがでしょうか。
0:37:03	中国電力の横谷です。記載適正化して、資料に反映いたします。以上です。
0:37:10	規制庁駅で存在します。
0:37:21	規制庁池です。あとですね。
0:37:32	これは本当記載だけなんですけど
0:37:36	24ページ。
0:37:39	もう
0:37:41	JRから印をしてるところがいくつかある。上のところとかですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:48	ちょっと、もうちょっと宣伝セメント床を大きくしていただきたいんですけど、これちょっと、
0:37:55	ツアアップになってるせいかもしれないんですけど、ちょっと先行。
0:38:01	と比べると少し小さいかなということで、これは
0:38:09	検討いただければと思います。
0:38:12	中国電力ミヨカワで承知いたしました資料に反映いたします。以上です。
0:38:17	規制庁城戸さんお願いします。あとですね
0:38:22	西郷ですけど 36 ページ。
0:38:28	全科いい。
0:38:30	議論させてもらった 50 の話で 10、36 ページの表 3、
0:38:38	これ、
0:38:40	対象の配管。
0:38:43	一次工事周期というのがあるんですけど、センコーの場合ですと、一応網羅的に全部、配管のこういう周期を並べてもらって、
0:38:55	その中で、
0:38:58	該当該当っていうか、次フェーズに近いものはこれですよっていうことで選んでいるので、まだその全部結果がないとかそういう、
0:39:08	事情はあるのかもしれないんですけど、最終的にはこの配管。
0:39:13	この選定のところは少し充実させていただきたいんですがよろしいでしょうか。
0:39:35	中国電力のクラムスです。
0:39:37	はい、衛藤対象配管を充実させる方向ということでは、はい承知いたしました。なお、今、
0:39:44	配管系を 5 モデルほどはい、お示しをしておりますけども、この、
0:39:49	今、原子炉建物の EL51.7 メートルとガンマ線遮へい機能いえる、29.962 メートル鉛直方向というところで代表の
0:40:00	位置を選定した上で、その代表、もし 1.1 の応答を使うもの。
0:40:07	の配管から今回の検討を行っているということをやっております、今表 3 の対象配管としてはこの EL51.7 メーターですとガンマ線遮へい機 29 メートルの応答を使う。
0:40:20	テール配管系という意味で言いますと、これで一応すべて記載をしてございます。
0:40:26	ただやはり分母として、もう少し対象範囲を広げた検討というようなところの充実も必要かというご指摘だと思いますので、そのあたり、はい。もう一度持ち帰って検討させいただければと思います。
0:40:39	以上です。
0:40:41	規制庁益です考え方がわかりました参考とはちょっと選定の仕方が違うっていうことだと思いますので、ちょっと必要に応じて、
0:40:51	見直していただければと思います。私からは以上です。
0:41:02	規制庁実用炉審査部門の服部です。本文の方でお願いしたいんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:10	NS. 2001-07。
0:41:15	これでAと。
0:41:16	4.5度をちょっと確認したいことがあります。まず、
0:41:21	通しの9ページですが、一番下、運輸、括弧し運用方法の学校支援のところで、
0:41:29	いことスペクトルの適用を書いているんですが、
0:41:33	2行目から、建物壁より支持される機器配管系及び建物中高に配置される機械が書いた配管系については、
0:41:43	上下階の設計用床応答スペクトルのうち、安全側のものを用いて書いてあるんですが、
0:41:50	これは包絡して用いるわけではなくて、上下、どちらか比較して片側を使うという意味でしょうか。
0:42:19	中国電力のクラマスです。はい。ご認識の通りで、上下階のうち安全側のものということでございますので必ず、
0:42:28	どちらというよりははい、基本的には大きい方をきちんと見て用いるということで記載しております。以上です。
0:42:35	規制庁服部です。例えば配管系なんかだと、し、こういう周期が複数あって、床剛と見たときに、
0:42:46	複数件参照するから、一次では、上の方だし二次では下の方ですとかっていうふうに、バラバラになってくると思うんですが。
0:42:56	これ安全側ってというのはどうやって判断されるんでしょうか。
0:43:07	中国電力の田村です。
0:43:10	今のおっしゃられた
0:43:13	配管系複数暴動を持ちますけどそのモードを複数持つということと、
0:43:20	どの床をってところの関係がちょっと理解。
0:43:25	できておりませんのでそこら辺、もう少し具体的におっしゃっていただけるといいでしょうか。社長服部です。例えば一次の濃度に関しては上の方の階の方が大きい。
0:43:38	下が小さい二次に関しては、逆の傾向で上の方の階の方が小さくて下が大きいと、参事についてはまた逆転してるみたい。
0:43:49	そういうような、その上下階でのオートスペクトルのでこぼこがあった場合に、
0:43:55	一律に、上の方が各全周期で大きければ、簡単に判断はできると思うんですが、
0:44:01	でこぼこがあった場合に、
0:44:03	安全側ってものをどうやって判断されるんでしょうか。
0:44:44	中国電力のクラマスです。
0:44:46	配管系の設計に、スペクトルを適用する際には、基本的には建物の実際の床応答スペクトルを見ていきますと、やはり上の方の方が応答としては、大きくなる傾向にございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:01	従いまして非常にまれなケースでは、今服部さんおっしゃられたようなこともあるかもしれませんが、基本的には概ね上階のほうが、スペクトルとしては大きいものになりますので、
0:45:12	基本的には上階を適用するというので考えております。以上です。
0:45:19	副所長とりあえずわかります。適用する前に全体的な、床応答スペクトルの括弧を見て、2 多様な格好をしてるんで、値としては上の方。
0:45:31	場合によっては下の方が大きいのかもしれないけど、その大きい方を適用するっていう、判断を行うということですね。
0:45:42	中国電力のクランプです。はい。そのご認識の通りです。
0:45:46	以上です。
0:45:48	所長だといいですわかりました。続いて 10 ページ、これは
0:45:53	単なる記載だけなんですけど、10 ページの上のところに、
0:45:58	湯本スペクトルの絵が出てるんですが、この中の記号の説明でΦ SIがSGのI支店の固有モードって書いてあるんですが、
0:46:09	これって、こういうモードを、の成分ですよねモードではなくて、モードの江藤伊勢ってI支店の成分なのかなと思うんですが。
0:46:23	この点いかがでしょうか。
0:46:32	中国電力田村です。少しちょっと確認しますお待ちください。
0:46:39	規制庁ハットリすいまの件に関してワードっていうと、当然ベクトルだと思うんですけど、これでスカラーのISIなので、
0:46:48	ベクトルではなくて、だからモードではなくてモードの成分 1 成分を表してると思うんですが、
0:47:33	中国電力のクランプです。はい。
0:47:36	お待たせしました、江藤ハットリさんのおっしゃられた通り、ここでは、SGのイシイ店のこういうモードと書いておりますので。はい。戸部もベクトルというよりは排水。イシイ店の大庭を。
0:47:50	そのモードにおける応答の大きさ。
0:47:53	に相当するますから。
0:47:55	の量だと、ということになります。今ちょっと正確にそういうものを今、正確な用語で何というふうに言うのかちょっと、はい、即答できないんですけども。はい。
0:48:06	おそらく服部さんのご認識と合っているのではないかと思います。はい。以上です。
0:48:11	施設ハットリですわかりました。
0:48:14	それと、次、確認だけ、なんですけど、16 ページにモデルの上が出てまして、
0:48:21	これは元 16 ページの原子炉本体のモデルなんですけど、右の方にかなり
0:48:31	いっぱい出典が振ってあるところ、例えばですね。
0:48:34	83 番 85 番、それから 86 番、108 番、87 番 128 番でこれは同じところに振ってあるように見えるんですが、
0:48:46	これは同じ。
0:48:48	出典なんでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:06	規制庁です。今服部が申し上げた麻生出典の場所なんですけど、
0:49:13	16 ページの図の右側の原子炉圧力容器の真ん中よりちょっと下側、
0:49:20	制御棒を機構ハウジング括弧内側のちょっと上ぐらいに、87 巻 128 とか、
0:49:28	あったり、その左側に、86 か 108 があったり、その左側に 83 から 85 があったり、そういったような質点です。以上です。
0:49:40	中国電力田村です。了解しました。ちょっとご説明、準備しますのでお待ちください。
0:49:51	中国電力石垣です。これらの視点は解析モデル上別々の出典として、
0:49:59	別々の出典として設けているんですけども、それをプログラム上で 5 結合しまして、一つの出典という形で、同じ扱いになります。モデル上は、
0:50:10	同じ視点で二つし、同じ必然の図に、二つの視点番号を設けていますが、解析プログラム上は一つの出典として扱えると。
0:50:21	いうふうな認識で二つの出典番号を書いております。以上です。
0:50:25	規制庁名取です。わかりました要するに片側が従属の出典になってるってことで自由度は要するにここは一つしかないということで理解しました。それとですね。
0:50:39	気水分離器及びスタンドパイプをずっと上から下に下がってくると、94 番の次に 96 番ってこれ黒丸のない出典があるんですが、95 番と 97 番に挟まれて、
0:50:53	これは出店っていうか、要するに接点番号がついてるけど、95 番と 97、94 番の従属の接点なので、自由度としては存在しないけど、設定があるというふうに理解すればいいですか。
0:51:12	中国電力石垣です。ここはですねピン結合をしております、自由度の水平自由度のみ結合して、
0:51:22	回転自由度はフリーという形で、この丸い白丸を書いているという状況です。以上です。規制庁というすぐありました。
0:51:34	あと最後に一つだけです。
0:51:37	33 ページですが、ここに表 4-1-1 として設計を振動及び静的震度が出てるんですが、
0:51:45	左の方に出版番号が、例えば一番上 NS 方向だと 6 番 20 番と二つ出てるんですが、床応答スペクトルとしては一つだけのものになってるんですが、これは、
0:52:00	二つの出版で出てきた、床応答を包絡して、このレベルの床応答にしてるといいうふうに理解すればいいでしょうか。
0:52:21	中国電力ミヨカワです。ご認識の通りです。以上です。室長の鳥井です。了解します。私からは以上です。
0:52:35	規制庁の宇田川です。補足説明資料の 7 ページをお願いします。
0:52:41	7 ページの表 2 のところなんですけども、衛藤。
0:52:46	前回のヒアリングで材料物性の不確かさに、地盤物性の不確かさを含めて、そう説明している。
0:52:54	ご説明ありまして、私の方で先行調べてみたんですけども。
0:53:00	その表の中の不確かさケースの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:03	書いてあるところ、KK開きという。
0:53:07	KKでは
0:53:08	材料物性の、
0:53:11	不確かさケースというふうになんか言葉が、府今島根では不足してる状態なので、
0:53:17	ここへ不確かさケースの前に材料物性のと、追記して、きちんと説明していただけますでしょうか。
0:53:35	中国電力のクランプです。
0:53:37	はい。この表では、ケース 2 からケース 4 で地盤物性の $\pm\sigma$ と積雪ケースを含んでおります。積雪ケースにつきましては、
0:53:48	材料物性にはちょっと積雪はやはり含まれないと考えておりますので、背弧と補う言葉としては材料物性等の不確かさケースといった形では意味直したいと考えております。以上です。
0:54:03	はいわかりました。お願いします。それとあともう 1 点なんですけども、補足説明資料の 12 ページの、
0:54:09	グラフなんですけども、
0:54:11	ここで、先ほどの表 2 の計図、1235 書き足して、きちんと包絡関係をきちんと示していただきたいんですけども、ちょっと、
0:54:22	選考も参考にさせていただきたいんですけども、いかがでしょうか。
0:54:34	中国電力のクランプです。承知いたしました。はい実際にはその包絡関係というのは、図 6 の、
0:54:43	スペクトルをご覧いただいているかと思っておりますけども、これで
0:54:46	その実線のほうの設計を床応答スペクトル 1 の方で、拡張されたような平べったりといえますかなだらかなところではない。少し飛び出したようなところというのが不確かさケースを包絡した部分となっております。
0:55:02	では今のご指摘はその辺りを全ケースのスペクトルを直接お示した上でその上を包絡線でなぞっているというところがわかるようにということだと理解いたしましたので、はいそのように見直したいと思っております。以上です。
0:55:15	よろしく申し上げます。以上です。
0:55:22	規制庁秘訣ちょっと 1 点追加が申し訳ないんですけど、補足説明資料の、
0:55:32	通しの 27 ページ。
0:55:34	例えば、27 ページ以降に床応答スペクトルがついてるんですけど。
0:55:42	先行のヒアリングでも何か言ってるんですけど床応答スペクトルの図の中に、減衰定数をちゃんと書いていただきたいんですけど、今はそのタイトルのところには書いてあるんですけど。
0:55:57	図には記載されてなくて、多分図だけを切り出してですね何か使う場合が結構あってそのときに、
0:56:06	書いてないと、ちょっとまずいので、
0:56:11	これは先行のヒアリングでも、気が付いた時に毎回言っているんで、
0:56:17	ちょっとこの床応答スペクトルを作成する。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:21	実際の担当の方にちゃんとこれは言っていたきたいと思いますので、これは今後、こういうものが出てきた時は毎回、こちらから指摘。
0:56:31	しますのでよろしくお願いします。
0:56:37	中国電力のクラマスです。承知いたしました。はい今後、当社の中でも徹底して対応したいと思います。以上です。
0:56:50	規制庁の伊井です。では前回のこの床応答スペクトル関係のコメントは終了です。
0:57:02	そちらから何もなければ次のリーダー議題というか、資料に移りたいんですがいかがでしょうか。
0:57:10	すいません中国電力のクラマスです。
0:57:13	はい。今いただきましたコメントの内容確認振り返りについては、このタイミングでさしていただければと思うんですがいかがでしょうか。どうぞ。
0:57:26	じゃあお願いします。
0:57:37	少々お待ちください。
0:57:39	規制庁のです。ちょっと、では資料変わらして
0:57:46	機器配管系の計算書作成の方法について説明をお願い、中国電力荒お願いします。
0:57:55	はい。中国電力の青木です。機器配管系の計算書の方法について説明させていただきますと思います。
0:58:02	まず、本日使用する資料は、すべて12月7日に提出いたしました。適正化箇所のリストとして、NS2他020、補正当初としてNS2、
0:58:14	3.200114比較表として、同資料番号の日、最後の補足説明資料としましてNS2法027101以上となります。お手元資料ございますでしょうか。
0:58:30	はい。大丈夫です。
0:58:33	中国電力青木です。了解しました。それでは説明を始めさせていただきますと思います。説明時間は20分ほど予定しております。よろしくお願いします。
0:58:43	本日の説明は、まず適正化箇所の説明を行いまして、次に補正当初と補足説明資料の位置付けを説明させていただきます。
0:58:52	その後、補足説明資料を用いて、耐震計算書の記載パターンを説明させていただきます、最後に、比較表を用いて、先行審査プラントとの比較結果を説明いたします。
0:59:05	それでは、まず第1回補正当初からの適正化内容を説明いたします。
0:59:11	NSに他020の1ページ目をご確認ください。
0:59:16	本日は、ナンバー1のみ説明させていただき、以降は記載の統一によるような内容が多いため、説明を割愛させていただきます。
0:59:25	では、ナンバー1について、補正図書NS2.200114の39ページ及び46ページ目でありますけども、
0:59:36	こちらは、縦型ポンプの水平方向及び鉛直方向の固有周期を表す表について、
0:59:43	当初、左図には、一行目にモードと記載して、2行目以降には水平、一次及び鉛直一次と記載しておりました。
0:59:54	本基本方針を適用する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:56	縦型ポンプの応答解析モデルは、水平方向及び鉛直方向で小共通であるため、モードと記載していた箇所を方向、水平一次及び鉛直一次と記載していた箇所を、
1:00:08	それぞれ水平方向及び鉛直を 5 に適正化いたしました。
1:00:12	こちら改めて比較表説明の中でも、該当箇所に触れさせていただきます。
1:00:18	補正図書の適正化の説明は以上となりますが、
1:00:21	提出させていただきました補足説明資料にも記載適正化が必要な箇所がございましたので、ご説明いたします。
1:00:30	補足説明資料、NS2502710-1。
1:00:36	-179 ページをご確認ください。
1:00:41	こちらの記号の説明がございまして、真ん中少し上のところの記号になりますけども、FSBの自体が、本来その下に記載しております。
1:00:52	不定をFDSの自体に統一すべきところが自体が異なる形となってございました。
1:00:59	こちら次回提出時に適正化を行わせていただきます。申し訳ございませんでした。
1:01:06	適正化の説明は以上となります。
1:01:10	次に、補正図書と補足説明資料の位置付けを説明いたします。
1:01:16	まず、補正図書NS2.200114 は、
1:01:21	添付資料 1 から添付資料 9 にて構成される代表的な機器配管系の耐震計算書の評価に関わる基本方針を示したものとなり、
1:01:32	各添付資料の中において、適用する規格基準、
1:01:36	評価式及び評価結果を整備したものとなっております。
1:01:40	次に、補足説明資料NS2 個、027101 は、
1:01:47	補正図書に記載しております基本方針に基づき、
1:01:51	待機耐震計算書を作成するにあたって、どの部分にどのような内容を記載するかの解説をまとめたものとなります。
1:01:59	さらに補足説明資料では、補正図書で整備した基本方針に当てはまらないパターンも含め、
1:02:05	耐震計算書の記載パターンを整備する形としております。
1:02:10	それでは、位置付けを説明いたしました。補足説明資料、NS2 法、027101 を用いて、
1:02:19	評価的手法に基づき、
1:02:21	類型化した耐震計算書の記載パターンを説明します。
1:02:25	補足説明資料、NS2 項 027101 の 4 ページ目、図 4-1 をご確認ください。
1:02:37	上段の図に耐震計算書の記載パターンの選定フロー。
1:02:41	下段の表に選択された記載パターンごとのフォーマットを示す付録番号。
1:02:47	該当設備例及び耐震計算書に記載する項目を示しています。
1:02:53	まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:54	上段の図をご確認ください。
1:02:57	例えば、補正図書の添付資料 1 から添付資料 9 にて整備しております。基本方針に基づく耐震計算書の作成を行うものは、
1:03:07	こちらに示します右端fの記載パターンを用いて、耐震計算書を作成します。
1:03:14	その他、
1:03:15	補正図書の添付資料 1 から添付資料 9 にて、
1:03:19	整備しております基本方針当てはまらないものも、評価手法に基づき、AからEのいずれかの記載パターンを用いて、耐震計算書を作成することとなります。
1:03:31	このように、パターン分類の上、下段の表中に記載する 11 の付録と呼んでおりますフォーマットと、
1:03:40	下段表中、機能維持評価の * 3 として、
1:03:44	表欄外注記に記載しております。
1:03:47	機能維持評価において、機能確認済み加速度を超えた場合の詳細評価を行う場合に用いる付録 5 を加えた全 12 の付録に基づき、
1:03:58	耐震計算書の構成記載程度を整理して進めております。
1:04:02	なお、その他具体的な記載内容や記載方法につきましては、これよりオーダーにまとめておりますが、
1:04:09	先行プラントの記載を踏まえた上で作成しており、詳細説明は割愛させていただきます。
1:04:15	補足説明資料の説明は以上となります。
1:04:19	次に、資料番号NS2.2。
1:04:23	00114 期の比較を用いて、先行審査プラントとの比較結果を説明します。
1:04:31	なお、本日の説明では、比較結果の相違理由の多くが記載の充実となっております。東海第 2 のみとの相違につきましては、説明を割愛いたします。
1:04:42	また、相違理由は同じものは、初回のみ説明し、以降の説明を割愛します。
1:04:48	それでは、資料番号NS2.200114 日の 1 ページをご確認ください。
1:04:57	こちらに類型化リストをまとめております。内容は、比較結果の中で、ここに説明いたします。それでは、4 ページ目をご確認ください。
1:05:08	まず、目次です。
1:05:10	横形ポンプ、縦型ポンプにつきまして、
1:05:13	型式名称をJEAG4601 に記載の名称に合わせて記載しております。
1:05:20	次に 5 ページ目をご確認ください。
1:05:24	ここから横形ポンプの比較結果を説明します。
1:05:28	8 ページ目をご確認ください。
1:05:31	2 ポツ 1 の評価方針について。
1:05:35	備考欄、上から三つ目のポツになります。
1:05:38	他の項目との記載、整合を考慮し、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:41	機能維持評価に用いる評価用加速度を、機能維持評価用加速度と記載するものとしております。
1:05:48	続いてその下、
1:05:50	同じく、他の項目との整合を考慮しまして、加振試験により機能維持を確認した加速度を、機能確認済み加速度と記載するものとしております。
1:06:00	続いて 12 ページ目をご確認ください。
1:06:05	上から、
1:06:07	二つ目のポツとなります。
1:06:09	表現の適正化のために、5 という表現を 5 対 5 構造等、要望適切に使い分けるものとしております。
1:06:17	14 ページ目をご確認ください。
1:06:20	計算モデル図について、
1:06:22	島根 2 号機では該当する評価対象はございませんので、記載しておりません。
1:06:27	続いて、19 ページ目をご確認ください。
1:06:33	5 ポツ 1、動的機能維持評価について。
1:06:37	上から二つ目のポツとなります。
1:06:39	記載を充実させるため、機能維持評価用加速度として、基準地震動 $S_s$ により定まる加速度、または、
1:06:46	これを上回る加速度を設定する旨具体的に記載しております。
1:06:50	また、構造強度評価等に用いる設計振動についても同様に記載してございます。
1:06:56	こちらは 6-2-1-7。
1:06:58	設計用床応答スペクトルの作成方針に基づく記載の反映となります。
1:07:04	続いて、20 ページ目をご確認ください。
1:07:08	こちらからフォーマットの比較となります。
1:07:11	Bをご確認ください。
1:07:14	記載を充実させるため、評価に適用する設計用震度 1、または設計用震度 2 を具体的に記載することとしております。
1:07:23	次に 21 ページ目をご確認ください。
1:07:27	0 の項目になります。
1:07:29	機能維持評価用加速度として、基準地震動 $S_s$ により定まる加速度またはこれを上回る加速度を設定することから、
1:07:38	機能維持評価用加速度は 1.0ZPAである旨、記載しないものとしております。
1:07:43	これは上回る加速度を用いるため、必ずしも 1.0ZPAとならないため、記載を、
1:07:50	変更しているものです。
1:07:52	横形ポンプの比較説明は以上となります。続いて 25 ページ目をご確認ください。
1:08:00	ここから、縦型ポンプの比較説明となります。32 ページ目をご確認ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:10	3 ポツ評価部位について、
1:08:12	備考欄の、
1:08:13	下から二つ目のポチTとなります。
1:08:17	コラムパイプ端部をサポートで、水平方向の支持をする場合の評価部位を具体的に記載しております。
1:08:24	36 ページ目をご確認ください。
1:08:30	こちらは先ほど評価部位を具体的に示す説明をいたしました但、サポート及びサポート取付ボルトの評価が必要な場合は、個別耐震計算書に計算方法を記載するものとして、
1:08:41	こちらに記載をしております。
1:08:44	続いて、39 ページ目をご確認ください。
1:08:49	5 ポツ 1、動的機能維持評価の方法について。
1:08:53	上から三つ目のポツとなります。
1:08:56	水平方向の機能維持評価用加速度を具体的にどのように使うかを記載してご
1:09:01	ざいます。続いて 41 ページ目をご確認ください。
1:09:05	こちらからフォーマットになります。
1:09:08	について、水平方向鉛直方向の固有周期を記載するものとしております。
1:09:14	こちらは冒頭説明いたしました、ナンバー1 の適正化箇所となります。
1:09:20	縦型ポンプの比較説明は以上となります。続いて 55 ページ目をご確認ください。
1:09:29	ここから、スカート支持たて置円筒型容器の説明、比較説明しとなります。
1:09:37	59 ページをご確認ください。
1:09:41	2 ポツ 3 記号の説明について、
1:09:44	0 を基礎ボルトの予備系と記載するものとしております。
1:09:48	次に 80 ページ目をご確認ください。
1:09:55	A の項目になります。
1:09:57	フォーマットへの入力に関する留意事項について、特に記載しないものとして
1:10:03	おります。スカート支持たて置円筒型容器は以上となります。続いて、87 ページ目をご
1:10:12	確認ください。ここから横置、一度円筒型容器の比較説明となりますが、
1:10:17	先行説明済みの内容のみとなりますので、説明は割愛させていただきます。
1:10:22	続いて 133 ページ目をご確認ください。
1:10:28	こちらから、
1:10:29	肥田平底縦置円筒型容器の比較説明資料となり、比較説明となりますが、こ
1:10:40	ちらも先行説明済みの内容のみとなりますので、説明を割愛いたします。続いて 158 ページをご確認ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:48	こちらから、丹の比較説明となります。163 ページをご確認ください。
1:10:57	記号の説明について、
1:10:59	POSは、
1:11:01	設計建設規格の記載の記号に合わせるものとしております。続いて、164 ページ目をご確認ください。
1:11:09	表 2-1 について、上から二つ目のポツとなります。
1:11:13	計算荷重及び反力方面と並びに、
1:11:17	許容荷重に対して必要に応じて小数点第 1 表示とすることを記載しております。
1:11:23	また、その下のポツとなりますが、支持構造物の評価に用いる反力及びモーメントについても、数値の丸め方を記載しております。
1:11:31	続いて、166 ページ目をご確認ください。
1:11:36	ポツ 1 構造強度評価において、
1:11:39	一番下のポツとなります。
1:11:40	リジット版画についても、種類及び型式単位に設定した許容荷重に対する応力評価を行うことを踏まえた記載としてございます。
1:11:50	次に 167 ページをご確認ください。
1:11:54	5 ポツに、荷重の組み合わせ及び許容力について、
1:11:59	6-2-1-9、機能維持の基本方針及び申請対応設備による相違が続きます。
1:12:07	169 ページ目をご確認ください。
1:12:12	口、5 ポツ 3、設計用地震力について。
1:12:16	こちらなんですけれども二つ目の上から二つ目のポツが、設計方針の相違と記載してございますが、こちら記載単なる記載の相違でありました。
1:12:27	島根 2 大木としましては東海第 2 の記載に合わせる状況になってございまして、
1:12:33	配管系の重心レベル業界の設計用床応答スペクトルを適用するものとしてございます。
1:12:40	次に 171 ページ目をご確認ください。
1:12:45	Cポツのピーク応力について、
1:12:48	クラス 1 管及び重大事故等クラス 2 管であって、クラス 1 管以外の間についても、ピーク応力繰り返しピーク応力強さ及び疲労累計累積係数の計算方法を記載しております。
1:13:02	また、一番下のポツとなります。
1:13:04	6 ポツ 1 動的機能維持評価方法につきまして、機能維持評価用加速度は、機能確認済み加速度を超過する場合は、計算応力は 9 揚力以下であること及び機能維持評価用加速度が、
1:13:17	動作機能確認済み加速度以下であることを確認するものとしております。
1:13:22	次に 172 ページ目をご確認ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:25	こちらからフォーマットとなります。
1:13:27	ポツが医薬系統図につきまして、
1:13:31	概略系統図の記載判例を記載するものとしております。
1:13:35	続いて 103、173 ページ目をご確認ください。
1:13:39	ポツ、鳥瞰図について。
1:13:41	設計基準対象施設と重大事故等対処施設の兼用範囲を示す、含む。
1:13:48	解析モデルにつきましては、設計基準対象施設に該当する範囲を示した鳥瞰図と、重大事故等対処施設に該当する範囲を示した鳥瞰図に分けて添付するものとしております。
1:14:01	次に 176 ページ目をご確認ください。
1:14:06	一番上のポツとなります。
1:14:08	0.05 秒未満のモードに対して記載する注記を示しております。
1:14:15	さらに、
1:14:16	下から二つ目のポチとなります。
1:14:19	評価に適用します設計用床応答スペクトル I、または設計用床応答スペクトル意味を具体的に記載するものとしております。
1:14:27	両者ともに、6-2-1-7、設計用床応答スペクトルの作成方針に基づくフォーマットとしたものです。
1:14:35	続いて 177 ページをご確認ください。
1:14:40	こちらは重大事故等クラス 2 管であって、クラス 1 管の場合は、許容力状態 4 Sと許容力状態 5Sを包絡した結果を記載するものとしております。
1:14:51	また、重大事故等クラス 2 管であって、クラス 1 管能力表、評価結果はクラス 1 管と同一のフォーマットにより示すものとしております。
1:15:00	続いて、その下になりますが、クラス 1 管または重大事故等クラス 2 管であって、クラス 1 管の評価について、江尻も含め、一つの表にまとめることとしております。
1:15:11	次に 181 ページ目をご確認ください。
1:15:16	上から二つ目のポツとなります。
1:15:18	こちら先ほど説明いたしました、機能維持評価用加速度が機能確認済み加速度を超過する場合の記載についてフォーマットに反映しております。
1:15:28	下については以上となります。続いて 184 ページ目をご確認ください。
1:15:34	ここから計装ラックの比較説明となります。188 ページをご確認ください。
1:15:41	2 ポツ 3 記号の説明について、一番下のポツとなります。記載を充実させるため、かぎ括弧壁掛け型設備の転倒方向は、5 ポツ 1 項に注記を記載した上で定義し、
1:15:54	注記に合わせた点等を記載するものとしております。
1:15:57	続いて、189 ページをご確認ください。
1:16:01	4 ポツ、固有周期について、
1:16:04	地形、下から二つ目のポツとなります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:16:08	試験体をハンマー等で強制加振する打診試験を含む表現として、自由振動試験と記載してございます。
1:16:14	また、その下の記載としまして、
1:16:17	振動試験により固有周期が求められていない設備に対する方針を、物理量に対して、主に適用します。同等という言葉を用いて、
1:16:27	構造が同等な 000 のに対する、振動試験により算定された固有周期を使用する旨、記載してございます。
1:16:35	次に 191 ページ目をご確認ください。
1:16:39	5 ポツに設計用地震力について、
1:16:42	一番上のポツとなります。壁型、壁掛け型設備の設計用地震力は、設置床、上下階のいずれか大きい方を用いることとしております。
1:16:52	次に、198 ページ目をご確認ください。
1:16:57	5 ポツ 4、応力の評価について。
1:17:02	他の項目との整合を考慮しまして、評価項目をとときに、特に記載しないものとしております。
1:17:09	次に、20 ページをご確認ください。
1:17:12	こちらからフォーマットとなります。Aの項目をご確認ください。
1:17:17	計装ラックに設置される計器番号を括弧内に記載するものとしております。
1:17:23	計装ラックについての説明は以上となります。次に、212 ページをご確認ください。
1:17:29	すいません。一つ飛びました。
1:17:32	20 ページの、の項目をもう一度ご確認ください。
1:17:37	一番下になりますけれども、重心位置を保守的な位置に設定して評価する場合の注記*1を記載するものとしてございます。失礼しました。
1:17:47	以上で計装ラックは終わります。次に 212 ページをご確認ください。
1:17:57	こちらから、ケース、キス端緒んの比較説明となります。
1:18:01	215 ページをご確認ください。
1:18:05	図 2-1 について。
1:18:07	一番下のポツとなります。固有周期を理論式で求める場合は、個別耐震計算書で説明するものとし、注記は記載してございません。
1:18:15	以上で経企さん所の説明は終わります。
1:18:19	最後に、233 ページをご確認ください。
1:18:24	ここから版の比較説明となりますが、こちらも先行説明済みの内容となりますので、説明を割愛いたします。
1:18:32	こちらからの説明は以上となります。
1:18:37	規制庁です。こちらからコメントなんですけどその前に一つ、今回説明していただいているのは計算書のフォーマットということなんで、今回そちらから説明してもらいましたが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:53	今後個別のですね、計算書を見ていくにあたって、フォーマット上こういう記載も必要だとかそういう話が出てくるかもしれないので、その時はまたフォーマットの方に反映することに、
1:19:04	なると思いますが、そういう認識でよろしいでしょうか。
1:19:09	中国電力青木です。はい。認識に相違ございません。以上です。わかりました。ではこちらからコメントをしたいと思います。
1:19:19	どうぞ。
1:19:27	既設の通りです。確認事項が日程があります。
1:19:32	ですね、本本体っていうか、NS. II 001-14 なんですけど、通しの 89 ページなんですけど、
1:19:44	これ要項キーの円筒を、
1:19:49	病気なんですけど、
1:19:51	この中身見ると、基本的にこれ 2 脚だけを扱ってるんですけど、3 脚とか 4 脚っていうのは、
1:20:00	今ね、動きの場合は、
1:20:03	特にそういうものはないんでしょうか。
1:20:07	中国電力の岩本です。今回工認において耐震性を説明するものの中に脚以外のものもございます。ですがそういったものについては個別の耐震計算書の中で、耐震計算の方法も含めてご説明することを考えております。
1:20:22	除却のこういった容器につきましては、こういった
1:20:27	共通する評価内容を文章にまとめておくことによって、個別の耐震計算書の中での記載を合理化しているという位置付けになりますので回答としては配慮客以外のものもございまして、
1:20:38	そういったものにつきましては個別の耐震計算書で説明をさせていただきます。
1:20:42	以上です。
1:20:44	規制庁土肥です。わかりました。
1:20:46	次 100、通しの 170、107 ページなんですけど、
1:20:51	ここに組み合わせ応力くうの計算報告が出てるんですけど、
1:20:56	下の方の式、
1:20:59	5.3. 1.1. 59 式等、その次の 60 式。
1:21:07	鉛直と横方向地震が作用した場合の扱いなんですけど絶対チバとSRSSで計算式出してるんですけど、
1:21:15	この二つの式を見るとどう、どう見ても同じ見えるんですけど、
1:21:20	これは、
1:21:22	絶対値はでもSRSSでも同じということなんじゃないでしょうか。
1:21:29	中国電力の山田です。再度確認をさせていただきますが、こちらに、どうしてもこちら、今指摘いただきました箇所は、動きであるという認識ですので、
1:21:39	確認させていただいた上で、修正を反映したいと考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:43	規制庁の鳥居です。わかりました。これ比較表で潜航とか見てもやっぱり同じに式になってて、
1:21:52	何か意味があるのかなって感じもするんですが、確認をお願いします。
1:21:58	中国電力の岩本です。承知しました。使命として、正しいと思う形に修正させていただきます。
1:22:06	はい、規制庁ハットリですよろしくお願いします。
1:22:40	規制庁ウエキです。
1:22:45	比較表のほうでお願いしたいんですが、Na図2の添2-001-14の括弧費。
1:22:58	この1ページの、
1:23:00	そういうナンバー⑥。
1:23:04	5対5構造など用語を適切に使い分けると。
1:23:11	いうことで
1:23:14	具体的にはですね、例えば、
1:23:19	なんですけど、12ページ。
1:23:21	ちょっと先ほど説明があったかもしれないとちょっと聞き漏らしたかもしれないんですけど。
1:23:28	これで、
1:23:31	豊島根井の2C66行目辺りになお横型ポンプは剛体として扱うため、
1:23:39	ということで、ちょっと先行。
1:23:42	上とここは違う言い方になって、
1:23:46	ていて、
1:23:49	先ほどの比較の、
1:23:52	適正カーのところに適切に使い分けるというふうに、
1:23:58	書いているんですけどちょっと考え方がよくわかんなくて、例えばここで横形ポンプは剛体として扱うため、
1:24:06	というのは、5として扱うため、
1:24:10	という言い方はあまり適切じゃないということで今回は、こういう、
1:24:18	ところで使う場合は全部剛体っていうふうにするってことなんですかね。あと例えばあと5号。
1:24:27	5重の判定と違って等、
1:24:31	いう話は、あって、要はその5とか5対っていう使いは形のところがちょっとよくわからなかったんで。
1:24:41	教えていただきたいんですけど。
1:24:48	中国電力の岩本です。まず剛構造といった協議をする時の、こういった時かという場合としましては、こういう収益を確認しまして、
1:24:59	剛構造かどうかというところ、2Hzの部分で判定をしておりますので、そういったところでは剛構造、20Hz以上のものかどうかと。
1:25:09	いう観点で、構造という表現を使用しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:12	剛体で表現を使用している部分につきましては、今お示している、こちら比較表の 12 ページにもございますように、前提として、
1:25:23	ほとんど変形するようなものではないためといったような、そういった考え方で
1:25:30	ほぼ変形するようなものではないという考え方として、
1:25:34	実態を説明する際に剛体という、こういった評価の前提減で説明する際には、5 倍という表現が適切だと考えておりました、高振動数を判定して、
1:25:46	その結果を主催は、5 構造という表現が適切だと思って、市内では使い分けを行っております。
1:25:52	以上になります。
1:25:55	規制庁池です。ちょっとくだらない話かもしれないんですけど、少し今のような、
1:26:02	ところを、
1:26:04	間、用語の使い方っていうのを、
1:26:09	ちょっとまとめていただけるとありがたいんですが、というのは結構先行と、言い方を変えているところがあって、
1:26:19	ちょっと私の理解だと 5、5、5 っていうのはもう、20Hz 以上と考えるときに、
1:26:27	今ん特集をかもしれないですけど 5 というふうに使ってきたのかなって思って確か日本語としては、剛体とか剛構造、
1:26:37	その方が、
1:26:39	実態を表しているのでもいいのかもしれないんですけど、ちょっと今まで使ってきた用語と少し、
1:26:47	変わってくるのかなというのがあって、ちょっとそこが気になったので、少し考え方をまとめていただけるとありがたいんですけど。
1:26:59	中国電力田村です。了解いたしました。
1:27:02	基本的にはちょっと 5、
1:27:04	ウエキさんがおっしゃられた後を剛構造と表現して、
1:27:09	剛体っていうときには、物理的にも無限大の剛性を持つということだと思うので、
1:27:15	物理的な場合の剛体と剛構造を使い分けて
1:27:21	変えたというか、
1:27:23	5 として扱うっていう、5 として扱うという言葉を、
1:27:27	多分二つ意味が、
1:27:31	その結構入り乱れて使っていると思いましたので、それを適正化したと考えております以上です。
1:27:40	規制庁八木です。確かに今のは、ちゃんと明確に
1:27:46	使い分けてきてるかっていうと、そうでもないところがあって、今回そこところをちゃんとしていただくということでは
1:27:57	いいことかなと思うんですけど、ちょっと解説をなんつか、
1:28:04	出してもらえるとありがたいです。
1:28:07	イメージとしては、1 ページ目の⑥のところに補充する感じですか説明。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:13	そうですね規制庁池です。そうですね。具体的には、そうですねそこ、そこにちょっと解説を少し加えて、
1:28:22	もらえますか。
1:28:24	中国電力田村です。了解いたしました。
1:28:29	規制庁駅です。お願いします。
1:28:33	そうです。
1:28:36	比較表の 171 ページ。
1:28:43	この黄色ハッチングのところですね
1:28:49	SMを三分の 2Syに読みかえるとかっていう、そのC、
1:28:59	Cポツ備考 6 について備考欄にあるように、
1:29:06	計算方法を記載するということなんですけど。
1:29:11	これは記載の詳細化であって、
1:29:16	SMこの三分の 2Syに読みかえるとかっていうのは、これは先行でも、どう変わらないということなんでしょうか。
1:29:31	中国電力の石井です。はい、ご認識の通り、衛藤記載を充実化しただけであって、評価手法だとかそういったものは先行と同様になります。以上になります。以上です。
1:29:43	規制庁ウエキですはい。わかりました。
1:29:52	それとですね。
1:29:58	等、
1:29:59	同じページで配管、7 ポツの耐震計算書のフォーマットっていうことで、
1:30:10	ちょっとまだ詳細確認してないんですけど先行の例だと何かんと。
1:30:17	DBとSAで、
1:30:21	分けて、頭に何か仕切りが実をつけてCAQようなやり方だったと思うんですけど。
1:30:29	島根の場合は、その、
1:30:33	書き方が変わる作り方が変わるっていうことなんですってつけ。
1:30:39	ちょっと先行はマスキングなのであんまり具体的な。
1:30:43	ところはあれなんですけど。
1:30:47	中国電力の石井です。島根ではですね先行とはそうしますが、DBへ政変という二つの当初に分けるのではなくて、
1:30:57	一つの部署に合本した形で提出しようと考えています。そのため、その後に出てくる表の形式だったりそういったものは、OSと言えずまとめて評価するような、
1:31:10	表現できるようなフォーマットに記載だとか、修正をしております。以上です。
1:31:16	規制庁植木です。
1:31:19	わかりました。それによって何か混乱が生ずるとか、わかりにくくなるとか、そういうことは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:27	ないと思っていいんですかね。確かに
1:31:32	センコーは、DB編成編に分かれていて、
1:31:38	普通そう見る時にたまに広報、
1:31:41	どっちがどっちか、わかんなくなったりして、確かあれ。
1:31:46	SFDB編ごとに、ページがついたりして同じ、同じページで、何か。
1:31:53	SAとDBがそれぞれあって確かにわかりにくいかなっていう。
1:31:59	ところがあったんですけど、今回はよりそれによってわかりやすくなるっていう、
1:32:04	理解でよろしいでしょうか。
1:32:08	中国電力の石井です。はい、ご認識の通り、先行だとやはり政変デービーへんで、二重に説明をしているところもあってですね、島根ではわかりやすく、はい。
1:32:18	表現を工夫しております。以上です。
1:32:23	規制庁植木です。わかりました。変わるところがわかるようにちゃんと明確に
1:32:35	書いて、
1:32:36	記載していただければいいかなと思います。
1:32:43	ですね。
1:33:03	すいません。へえ。
1:33:05	ちょっと補足説明資料の方で、
1:33:13	NSの方の027、10-1の方なんですけど、
1:33:18	まず、
1:33:19	ちょっとすごいつまらない話なんですけど。
1:33:23	補足説明資料のタイトルが起電設備の耐震計算書の作成についてっていうふうになってて、
1:33:33	一方
1:33:36	工認の添付書類は、機器配管系の計算書作成の方法というタイトルですね。
1:33:46	まず、機器配管系っていうのが、
1:33:49	片方は起電設備。
1:33:52	いて後、
1:33:53	計算書作成は、一方は耐震計算書作成っていうふうになっていて、
1:34:01	何か、
1:34:02	わざとこういうふうに変え、何かいいところあるんでしょうか。
1:34:16	中国電力の浦本です。特別な意図があるわけではなく、補足説明資料としては対応関係もわかりやすいように、先行の例も見ながら、設定したというところが実態です。
1:34:28	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:31	規制庁駅です。ですね、ちょっと駒田この時期なので、できれば何か、何かちょっとすごいキーな感じがして。
1:34:42	同じ内容なのに何か、なぜタイトルが変わってくるのかなっていうのがあって、
1:34:50	あと、先行買ったところ、柏崎なんかは何か。
1:34:55	多田丹、機器配管系のつかずに耐震。
1:34:58	計算書作成の方法とか、何かとんでもないタイトルがあったり、
1:35:03	んなってたりしてですね、そこはちょっと後続は、
1:35:08	機械関係とかつけてもらったりとかっていうのがあって、ちょっと全般的にですねこのタイトルっていうのも少し気をつけて、今の時期ですので、
1:35:19	直すべきはやっぱり直した方がいいのかなということがありますので、少し検討をお願いしたいんですけど。
1:35:33	中国電力の岩本です。承知しました記載を検討したいと思います。
1:35:41	今、指摘いただいたコメントに対する反映のイメージとしましては、機器配管系の計算書作成の方法の補足についてといった、そういったものでどうか考えているのですが、
1:35:55	移動されてるところのイメージはあっておりますでしょうか、確認させてください。以上です。規制庁エキス私のイメージは、機器配管系の耐震計算書の作成が一番いいかなと思って。
1:36:06	ていて、要は、工認の添付書類の方も、耐震という言葉はなくて、何の計算書作成の方法なのか。
1:36:16	ていうのがわかかわからないので、
1:36:19	ミックスしたようなタイトルの方がいいかなと思うんですけど。
1:36:26	こういう指摘をすると、先行の伝ではですね、この、
1:36:33	目次を全部見ればこれ耐震計算書の中、耐震の中にあるので別にタイトルなんてどうでもいいんだみたいな話をよくされるんですけど。
1:36:44	やっぱり図書単位でこうなんか、
1:36:47	出てくる場合が多いので、やはり図書単位で明確になっているべきだっていうそういう趣旨なんですけど。
1:37:05	中国電力の山本です。承知しました。今のご指摘の内容についてちょっと改めて確認させていただくんですが、添付の本日で言いますと、Ms2.201-14の、こちらの制定の修正。
1:37:21	プラス、補足説明資料側も対応したタイトルに推薦してはどうかといった指摘かと認識したんですが、認識は合っていますでしょうか。
1:37:30	以上です。規制庁、麻生ですね両方のタイトルを統一した方がいいという話とあと、
1:37:39	タイトルそのものをもう少し適正化できないかなという。二つですね。さっきちょっと言われましたけど補足。同じタイトルにすると見分けがつかないっていうのは、
1:37:51	あると思うんで、補足のほうは少し、
1:37:54	何か祭りを変えるとかそうそういうことで、ちょっとしょうもない話で申し訳ないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:11	中国電力田村です。
1:38:13	今ご指摘いただいた、
1:38:16	ことは
1:38:18	結構、影響範囲が多岐に、また、
1:38:22	ふることになると思いますので、
1:38:25	ちょっとそこらも踏まえて今、1階と二階で補正申請させていただいて、
1:38:30	いろいろ紐づき関係呼び込む関係もあるので、
1:38:37	そこらも影響も踏まえてちょっと検討させていただきたいと思います。以上です。
1:38:43	規制庁の伊勢少々お待ちください。
1:39:25	規制庁池です藤。
1:39:28	紐づきの関係とかあとQMS上の話とかってというのがあってなかなかすぐには帰れないというのは、
1:39:37	ということだと思うんで、ちょっと一つの意見として、
1:39:42	検討していただければと思います。
1:39:45	それとですね同じような話でちょっとこちらの方が私は、
1:39:51	あれなんですけど。
1:39:54	ぜひ検討してもらいたいと思ってるのは
1:39:59	配管。
1:40:01	慶野。
1:40:03	耐震計算書のタイトルですね、補足説明資料で言うと、
1:40:09	270 ページですか。
1:40:13	これで、
1:40:15	今これ管の耐震性についての計算書っていうふうになっていて、
1:40:21	これって、すべての、
1:40:25	系統の、
1:40:26	計算書が全部同じタイトルになってもちろん、図書番号は違うんですけど同じタイトルになって、
1:40:33	で、
1:40:38	当会議等を、柏崎はこうなっていてこれ、これも私毎回お願いしてるんですけど、結局先行は変えてくれなくて多田、女川はですね、
1:40:51	理解してもらってこの括弧、括弧で系統認証を付け加えてもらったんですんで、これって多分、
1:41:01	品質管理上、当初の鳥井知間違えとかないようにするという意味では、
1:41:09	やっぱりこって系統名称がないと、何の計算書かわからないと。
1:41:15	で、
1:41:16	これ言うと、またさっきと同じように、これって、目次構成上はまず系統。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:41:22	名前があってその下に間ぶら下がってるんだからそれを見ればわかりますみたいなことを言われて、
1:41:29	と言うんですけどただ実態は、と、いや、さっき言ったように、図書単位で出てくるのが多くて、
1:41:37	このタイトルんだ、あとですね中身を見ないと。
1:41:43	何、何の発刊の計算書かわからんってすごい不不便というか、
1:41:48	取り違えのリスクもあると思ってて。
1:41:55	ウダガワ変えてもらったっていうこともあるので、これもちょっと検討していただきたいんですか。けれども、
1:42:06	中国電力の田村です。はいご指摘の趣旨は、
1:42:11	よく理解しております。
1:42:15	はい。
1:42:18	従来から受け継いでくる中でこのような方もあったんだっていうと理解しております、
1:42:25	はいご指摘はよく理解できます。ちょっと、
1:42:29	先ほどと一緒にになりますけど影響範囲だとか強度とか耐震だけではなくて強度とかにも、
1:42:35	ということになると思いますので、
1:42:37	ちょっとよく検討して、
1:42:40	対応決めないといけないと思っておりますので、
1:42:43	検討させていただいて、対応をまたご説明させていただきたいと思います。以上です。
1:42:50	規制庁衛藤です。強度の方は、確かに、例の強度計算償還、あれもやっぱり弁、同じタイトルだったので、それは案件アンケートの名称を括弧書きで付け加えてもらって。
1:43:06	それ以外は確かあまり付け加えなくてもわかる。当然機器、機器関係は、何々。
1:43:14	何々何とかのポンプとか何とかの熱交換器とか書いてあるんで、何ら問題ないんですけど、配管と強度の弁だけはちょっといかんともしが立って、
1:43:27	同じタイトルですね。
1:43:31	田村さん中心を灯だと思っているので、少し、
1:43:36	検討いただければと思います。
1:43:41	はい。中国電力の田村です。はい、検討。
1:43:45	させていただいて、またご説明させていただきます。
1:43:50	今日ヒアリング時間が、
1:43:53	50分になって、
1:43:55	12時までの時間に近づいてきましたが、いかがでしょうか。規制庁です少々お待ちください。
1:44:07	えっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:34	規制庁のです。残りウエキから一つだけちょっと申し上げて細かい点がまだあるのですみませんこれもちょっと次回持ち越して、やりたいと思います。
1:44:46	とりあえずウエキから1点コメントします。
1:44:49	規制庁植木です。補足説明資料の方ですね
1:44:54	例えば6ページ。
1:44:58	もう下から二つ目のポツのところに、
1:45:02	当間構造計画のところにですね主要な寸法を記載するとか、あと、
1:45:11	10ページのところで、以降、2.7の構造強度評価のところで
1:45:17	絶対チバとSRSS両方、
1:45:22	方針のところにある場合はどちらを使ったか、記載するとか、これってフォーマットのところにはそれを書くというふうな、
1:45:31	てるんですけど一応この、
1:45:33	全体の方針のところにもうちょっとそういうことを付け加え、
1:45:38	経た方が、言って、これ一ですね
1:45:43	女川の方はいくつかこここのところに、今二つ例を言いましたけど、そういうものを追加してもらっているの、
1:45:53	前回も言いましたけどちょっと女川のやつも見てもらって、
1:45:59	女川をすべて、
1:46:02	適正化っていうわけではないんですけど、その後、
1:46:07	書いてるものでないやつはちょっと、
1:46:10	必要に応じて追加するようしてもらいたいんですけど、よろしいでしょうか。
1:46:20	中国電力の青木です。了解しました。内容確認して、適切に反映するようにいたします。以上です。
1:46:27	規制庁大城です。よろしくお願いします。あと、フォーマット関係ですと
1:46:33	逆に島根の方が明確化されてるようなところもあるので、必ずしもそこを名和が、
1:46:47	いいというわけではないのでそこは適宜判断していただければと思います。私から以上です。
1:46:57	規制庁です。ではすみません時間が迫ってますのでとりあえず、規制庁からのコメントは今回これで終わりにしたいと思います。
1:47:09	ちょっと次回時間を組んでいただいて残りの
1:47:14	何分ぐらい残りありますか。
1:47:26	次回
1:47:29	30分ぐらい、ちょっと残りの湖面等の時間をとってください。
1:47:35	よろしいでしょうか。
1:47:39	中国電力田村です。はい。次回、30分でコメントいただきたいと思います。それで次回としましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:49	以前は 12 月 15 日水曜日に波及影響ということで十時から 12 時までお時間をいただいておりますので、その冒頭 30 分でコメントいただければと思います。以上です。
1:48:02	規制庁尾野です。わかりました。では本日のヒアリングにこちらからはないですが、そちらから何かございますでしょうか。
1:48:13	当社、中国電力田村です。当社から追加ございません。以上です。
1:48:18	わかりました。では本日のヒアリングこれ終了したいと思いますお疲れ様です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。